

## 海外自治体幹部交流協力セミナー2019（シンガポール事務所管内） 事業概要

地方交流事業テーマ： インバウンドと多文化共生による新しい地域づくり

海外参加者数： 9名

Donald SERONAY (Retd.) ドナルド・セロナイ *団長
フィリピン 内務自治省 第 XIII 地方管区 副局長
TEP Phearun テブ・ピアルン
カンボジア王国 プレイベン州バプノン郡 郡長
Amanjot KAUR アマンジョット・コール
インド オールインド自治体協会 プロジェクトマネージャー
Ni Gusti Ayu L. Ambarawati グスティ・アユ
インドネシア共和国 インドネシア内務省 協力促進局国際団体及び海外組織協力課担当官
Thongsavanh KHAMMANICHANH トンサヴァン・カンマニチャン
ラオス人民共和国 シェンクワン県 情報・文化・観光局 局長補佐
Halimah ABDUL MANAF ハリマ・アブドゥール・マナフ
マレーシア マレーシア北大学 准教授
Phone Myat Thu フォン・ミヤット・トゥー
ミャンマー連邦共和国 ミャンマー連邦政府省 一般行政局 土地局長
Subadra WALPOLA スバドラ・ワルポラ
スリランカ民主社会主義共和国 内務・地方政府・州評議会省 上級事務次官補佐
Chanettee WONGKAEW チャネッティー・ウォンキアオ
タイ王国 クロンクットタンボン自治体 助役補佐

日程：

月日	予定	宿泊地
12/15(日)	来日、オリエンテーション	東京都
12/16(月)	東京セミナー（日本の地方自治講義、都内施設視察） クレア主催歓迎レセプション	東京都
12/17(火)	東京セミナー（都内施設視察） 受入自治体（山口県下関市）へ移動 地方交流事業（行政説明） 下関市主催歓迎夕食会	下関市
12/18(水)	地方交流事業（下関市長表敬、行政説明、視察）	下関市
12/19(木)	地方交流事業（視察、意見交換会） クレア主催帰国前夕食会	下関市
12/20(金)	地方交流事業（視察） 東京都へ移動 自由行動	東京都
12/21(土)	帰国	—

## 【 12月15日（日） 】

参加者来日

## 【 12月16日（月） 】

### （1）講義：日本の地方自治

はじめに、東京では日本の地方自治制度への共通理解を得るため、明治大学の木村 俊介教授より日本の地方行財政制度について受講。参加者からは「日本の地方交付税は、財源の不均衡を調整するよい仕組みだ」、「地方政府がさらに県や市町村に分類され、効率的で規律正しいと感じた」などの感想があり、自国の制度と比較しながら、地方自治に関する新たな知見を得たようだった。



<地方自治講義での質疑応答>

### （2）講義：しんじゆく多文化共生プラザ

全国で最も在留外国人の多い東京都で、その人口が突出して多い新宿区。「しんじゆく多文化共生プラザ」では、外国人居住者に係る新宿区の取り組みや、日本人と外国人が相互理解を深める場として当該施設が行っている活動について紹介を受けた。プラザ所長より「ここでは住民同士の交わりが少なく、相互理解が不足していることが課題」との発言があったことに対し、参加者は多民族社会である自国の背景を踏まえ、新宿区で実践している民族を超えた住民個人のつながりの強化や、異文化理解促進に向けた様々な企画が印象的だと感じたようだった。



<しんじゆく多文化共生プラザでの講義・意見交換>

### （3）視察：外国人観光案内所（TIC）

JNTOが運営する外国人「JNTO ツーリスト・インフォメーション・センター」を訪問。ここでは、外国人旅行者への一般的な案内に加えて、祈祷室としても利用できる多目的ルームがあることや、防災施設としての機能、日本文化体験の提供等について紹介を受け、参加者は豊富な観光コンテンツや旅行者の受入れ体制を知ること、改めて日本が魅力的なデスティネーションであると感じたようであった。



<TICを訪問>

### （4）クレア主催歓迎レセプション

グランドアーク半蔵門にて開催。参加者9名のほか、クレアから常務理事、クレアシングポール事務所赴任予定者等が参加し、互いの制度や文化などについて紹介し、交流を深めた。

## 【 12月17日（火） 】

### （1） 講義：日本政府観光局（JNTO）

日本のインバウンド事業を牽引する日本政府観光局（JNTO）では、2020年までに訪日外客数4,000万人という政府目標を達成するための事業戦略や、海外事務所との連携活動、現在進めているゴルフやダイビング等のテーマに特化したツーリズムの強化策について説明を受けた。参加者からは、緊急災害時の対応や、データ収集・分析方法、事業の意思決定過程や今後の課題など幅広く質問があり、体系的に実施されている日本の観光戦略に感心しているようであった。



<JNTOでインバウンドについて受講>

### ～下関市へ移動～

### （2） 下関市概要説明

下関市職員より、下関市の概要及び観光政策について説明を受けた。

参加者は、下関市が5つの姉妹都市とどのような交流をしているか、また、姉妹都市締結の経緯等について多く質問したほか、まちづくり政策などについても熱心に意見を交わした。

## 【 12月18日（水） 】

### （1） 前田下関市長表敬

下関市役所において、前田晋太郎下関市長を表敬訪問。市長をはじめ市のみなさんより温かい歓迎を受けた。訪問団の団長であるドナルド・セロナイ氏（フィリピンから参加）からは受入れへの謝意が示されたほか、市の重点目標である「優しいまち実現事業」に深く感銘を受けたとの発言があった。この後、下関市ではテーマに沿って関連施設の視察と意見交換を行った。



<前田下関市長を表敬訪問>

### （2） 視察：下関市消防防災学習館「火消鯨」

初めに、行政視察として下関市消防防災学習館「火消鯨」を訪問し、参加者は下関市で想定される災害や市民への情報提供システム、火災や救急要請時の体制・対応等について職員より説明を受けた。

また、英語字幕付き「防災シアター」の視聴や消火・煙避難訓練を参加者自身が実際に体験。参加者は、日本の災害対応への意識の高さに感心している様子だった。



<火消鯨で消火体験>

### (3) 視察：山陽終末処理施設

続けて、山陽終末処理施設を訪問。下水処理施設の概要、設備、処理過程について職員より説明を受けた。参加者によっては、下水道インフラの整備が自国で課題となっていることから、本施設の訪問は非常に関心が高く、活発な質疑応答が行われた。参加者からは、このセミナーを契機として今後も日本からこのような施設整備に関する知見を得たい、との声があった。



<山陽終末処理施設を視察>

### (4) 視察：長府庭園、毛利邸、功山寺

観光地の視察として、長府藩所縁の「長府庭園」を訪ね、宮本武蔵と佐々木小次郎の時代寸劇を鑑賞。日本庭園を背景に、ダイナミックに決闘が行われる様子を英語のナレーションにより鑑賞した。

また、参加者は着物を着用し、趣のある日本庭園を散策するなど和の文化も体験。さらに、「毛利邸」や、鎌倉時代に創建された国宝「功山寺仏殿」を訪れ、参加者は、歴史を感じる荘厳な建築に魅了されているようだった。



<長府庭園で着付け体験>

## 【12月19日(木)】

### (1) 視察：角島大橋、角島灯台

「死ぬまでに行きたい世界の絶景」に選ばれた角島。コバルトブルーの海士ヶ瀬に架かる「角島大橋」が視界に入ると、参加者から感嘆の声があがるほど、美しい景色に感動していた様子だった。

また、橋を渡って日本海側初の洋式灯台である「角島灯台」も訪れ、頂部から見えるパノラマの景色を眺めては、参加者自身も写真を撮ってSNSへ投稿するなど、下関市の自然の魅力も体感した。

参加者は、下関市における様々な観光地を訪ね、「桜の季節にまた来たい」、「夏の景色もきれいだろう」など、各訪問地の四季の魅力にも関心を寄せていた。



<角島灯台の頂部から絶景を眺めた参加者>

## (2) 講義：渚の交番プロジェクト

角島を訪問後、参加者はこのような人気の観光地の保安全管理の方法にも関心を寄せていたことから、「渚の交番島戸」を訪問。

NPO 法人コバルトブルー下関ライフセービングクラブの新名 文博代表より「渚の交番」プロジェクトを通じた海辺の人命救助や環境保全活動等の地域活動について説明を受けた。質疑応答の時間では、若者が参加したきっかけや、運営や自治体との関わりについて質問があったほか、このような社会問題に意識の高いNPOが立ち上げられたことへの感銘が示され、参加者は市民参加型の事業についても知見を深めた。



<新名代表とセロナイ団長>

## (3) 意見交換会

セミナーの締めくくりとして、参加者と下関市職員が一堂に会し、これまでの視察を踏まえた意見交換会を開催。

インバウンドについて、参加者からは、下関市は多くの旅行者に選ばれる魅力的な観光地であり、その価値に手を加える必要はないとする意見がある一方で、ナイトライフツーリズムの推進や多言語表記、デジタル化の強化など、観光客目線での率直な提案もなされた。

また、多文化共生について、参加者は各国のそれぞれの民族構成や社会背景がありながらも、個人としての交わりの重要性や、特定の民族が集団化せずに色々な国の人びとが触れ合うこと、また、各民族に対して公平に取り扱うことの大切さなどについて意見を述べた。

最後に、下関市国際課の安部 隆課長からは、「日本が少子高齢化を迎えているなかで、今後は東南アジア諸国も含めた外国の方々による地域の担い手が重要だと感じており、今後は多文化共生政策にも力を入れていきたい。今回のセミナーで得た参加者からの意見や情報を参考にしたい。」と総括された。



<意見交換会の様子>

## 【12月20日（金）】

### （1）視察：赤間神宮、唐戸市場

下関市滞在の最終日は、安徳天皇所縁の「赤間神宮」を訪問。下関市職員より壇ノ浦の戦いや水天門の由来、耳なし芳一物語など、この地を舞台にした歴史的背景について説明を受け、参加者は興味深く耳を傾けていた。

また、関門の台所である唐戸市場と隣接のカモンワーフも訪問。参加者は新鮮な地元の食材を実際に味わいながら、活気と熱気に満ちた雰囲気を感じた。



＜赤間神宮視察の様子＞

## 【12月21日（土）】

参加者帰国

以上